

氏名	小栢進也	部署	理学療法学科	職名	准教授
研究分野	運動器理学療法、基礎理学療法、支援工学理学療法				
学位	博士（工学）				
学歴	2014年9月 大阪大学大学院 基礎工学研究科 博士後期課程 修了 2009年3月 京都大学大学院 医学研究科 修士課程 修了				
経歴	2018年4月～現在 埼玉県立大学 准教授 2017年4月～2023年3月 産業技術総合研究所 研究員 2011年4月～2017年3月 大阪府立大学 助教				
所属学会（役職）	日本理学療法士協会（論文査読委員）、日本運動器理学療法学会（編集委員、評議員）、日本基礎理学療法学会（査読委員）、ランニング学会				

【2025年度実績】

1. 研究業績							
(1) 著作(著書及びその他の著作物)							
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数	著者、編者名	発行等年月	
1	なし						
(2) 論文							
	論文の名称	単・共	査読	IF対象誌	雑誌名、巻（号）、開始-終了ページ	著者、編者名	発表等年月
1	高齢者の歩行中の膝回旋角度と1年後の疼痛発生の関連性検討	共著	あり		理学療法－臨床・教育・研究 32(1) 52-56	小栢進也, 堀内健太, 島村雅彦	2025年5月
2	変形性膝関節症患者における膝蓋下脂肪体による痛みの評価と治療	単著	なし		運動器理学療法学 5(1) 1-2	小栢進也	2025年6月
3	Trunk Muscle Activity During Seated Strength Exercise With Resistance Wheeled Training Equipment	共著	あり	○	Journal of Chiropractic Medicine 24 1-4 62-67	Shinya Ogaya, Aoi Uchida, Rena Yamamoto, Ryosuke Momose, Shiuba Kudo	2025年8月
4	Knee kinematics during curved walking	共著	あり	○	Cureus 17(10) e93680	Masahiko Shimamura, Kenta Horiuchi, Shinya Ogaya	2025年10月
5	Relationship between knee joint angles and infrapatellar fat pad stiffness in patients with knee osteoarthritis	共著	あり	○	Journal of Medical Ultrasonics	Shinya Ogaya, Satoshi Horiguchi, Riona Kaizu, Mai Tomita, Moko Kitahara, Kenta Horiuchi, Satoshi Kido, Takashi Matsuno	2025年10月
6	Association between physical activity and sonographic features of the infrapatellar fat pad in older adults.	共著	あり	○	The Knee 57 506-512	Shinya Ogaya, Satoshi Horiguchi, Riona Kaizu, Mai Tomita, Moko Kitahara, Kenta Horiuchi, Satoshi Kido	2025年10月
(3) 学会発表							
	学会発表の演題	単・共	学会名、開催都市	発表者（発表者は○印）	発表等年月		
1	The relationship between knee joint angles and infrapatellar fat pad stiffness in osteoarthritis patients	共同	World Physiotherapy Congress, 東京	○Shinya Ogaya, Satoshi Horiguchi, Riona Kaizu, Mai Tomita, Moko Kitahara, Kenta Horiuchi, Takashi Matsuno	2025年5月		
2	In walking with rearfoot weight-bearing, the compressive force on the patellofemoral joint increases	共同	ISB 2025 Congress XXX, Stockholm	Daisuke Uritani, ○Shinya Ogaya	2025年7月		

3	胸郭バイオメカニクス解析に資する呼吸筋有限要素モデルの構築	共同	LIFE2025, 厚木	木戸聡史, 東郷孝亮, 赤間美波, 福田愛結美, 善田督史, 宮前菜津子, ○小栢進也	2025年8月
4	運動介入による膝蓋下脂肪体の硬度変化	共同	第13回日本運動器理学療法学会学術大会, 大阪	○小栢進也, 富田麻衣, 堀口聖司, 海津梨央奈, 北原萌呼, 堀内健太, 島村雅彦, 木戸聡史	2025年11月
5	有限要素解析を用いた膝関節軟骨における歩行の力学的影響と負荷軽減効果について	共同	第13回日本運動器理学療法学会学術大会, 大阪	堀内健太, 王森彤, 島村雅彦, ○小栢進也	2025年11月
6	世界に触れて揺らぐ常識：国際視点が導く保健医療研究の新たな可能性	共同	保健医療福祉科学学会 第16回学術集会, 越谷	○小栢進也	2025年11月
7	骨粗鬆症患者の椎体骨折と起立・着座時における矢状面脊椎のダイナミックアライメントとの関連について	共同	第36回日本運動器科学学会, 松江	○旭竜馬, 島村雅彦, 小栢進也, 中村豊, 金井優宜, 丸谷康平, 伍賀伊織, 浅野聡	2025年7月
8	変形性膝関節症患者の理学療法：心と身体に対するアプローチ	共同	第62回日本リハビリテーション医学会学術集会, 京都	○瓜谷大輔, 小栢進也	2025年6月
(4) その他					
	名称	単・共	発表場所等	発表者（発表者は○印）	発表等年月
1	該当なし				
2. 競争的資金等の研究					
	競争的資金等の名称	研究名		研究代表者・研究分担者の別	研究期間
1	石本記念デサントスポーツ科学振興財団	ランニングが変形性膝関節症に与える影響の検証一年をとってもランニングを続けられる社会を目指してー		研究代表者	2025年12月 - 2026年6月
2	日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究(C)	変形性膝関節症の痛みとメカニカルストレスに対する足部内在筋トレーニングの効果		研究分担者	2025年4月 - 2028年3月
3. 教育業績					
(1) 講義					
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）	
1	運動器障害理学療法学		5	運動器障害の理学療法に関する評価・治療の講義	
2	理学療法評価学		6	理学療法評価の基礎となるROMやMMTを中心とした臨床評価法の講義	
3	理学療法学研究法演習	○	5	理学療法研究の紹介、研究立案、統計解析、発表方法等の講義	
4	臨床バイオメカニクス	○	15	疼痛・予防・科学技術を用いた理学療法に関する講義	
5	運動学入門		4	物理学を人の運動に応用して、動作の力学メカニズムを講義	
6	加齢神経運動機能論		3	シミュレーション解析、変形性膝関節症の運動療法の最先端研究(大学院博士後期)	
7	リハビリテーション基礎実践学特論	○	4	理学療法研究に関する講義(大学院博士前期)	
8	障害予防学特論	○	6	加齢による身体機能変化に関する講義(大学院博士前期)	
9	リハビリテーション教育学Ⅰ		1	理学療法教育論(大学院博士前期/後期)	
10	リハビリテーション教育学Ⅱ		1	理学療法教育論(大学院博士後期)	
11	理学療法症候障害論		2	理学療法研究に関する講義(大学院博士後期)	
(2) 演習					
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）	
1	基礎運動療法学演習		4	ストレッチなどの基礎的理学療法知識を元にした演習	
2	理学療法評価学実習		20	理学療法評価の基礎となるROMやMMTを中心とした臨床評価法の講義と実技	

3	運動器障害理学療法学実習	○	22	運動器障害の理学療法に関する評価・治療の講義と実技の授業を実施	
(3) 実習					
	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）	
1	臨床教育実習 I、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ		2025.4-2026.3	臨床実習学生を担当し、実習地訪問、学生レポート、実習内容の確認、発表会、個人指導を行った	
2	ヒューマンケア体験実習		2025.9	ヒューマンケア体験実習学生を担当し、実習病院を訪問の上で実習指導、学生レポート、発表指導を行った	
(4) 論文指導					
	対象		期間	主指導・副指導の別及び指導人数	
1	卒業論文		2025.4-2026.1	主指導 5名	副指導 0名
2	修士論文		2025.4-2026.3	主指導（指導教員） 0名	副指導（指導補助教員） 1名
3	博士論文		2025.4-2026.3	主指導（指導教員） 1名	副指導（指導補助教員） 名
(5) その他					
	名称		期間	概要（教育内容・方法等において工夫した点）	
1	臨床実習指導者講習会ファシリテータ		2026.1	人間健康総合科学大学での演習運営	
4. 社会貢献活動					
(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師					
	講演会、研修会、公開講座等の名称		主催	講演、研修、公開講座等のテーマ	開催年月
1	地元住民向け体力測定会		小栢ゼミ	体力測定「脚の健康チェック」	2025.8
2	講演会		春日部地区労働基準協会	高年齢労働者の膝痛対策等について	2025.5
3	講演会		浦和地区労働基準協会	働く人の腰痛・膝痛対策について	2025.11
4	講演会		所沢労働基準監督署	転倒災害防止の第1歩 自身（転倒リスク）を知り、けがを予防していつまでも健康に	2025.11
5	講演会		川越労働基準監督署	転倒・腰痛予防のポイント	2026.2
6	埼玉未来大学		いきいき埼玉	100歳まで自分の足で歩ける体を作る！足と靴の健康を学ぶ	2025.5
7	埼玉未来大学		いきいき埼玉	楽しく体力アップ	2025.6
(2) 国、自治体、学術団体等における委員等					
	国、自治体、学術団体等の名称		委員等の名称		任期
1	日本理学療法士協会		理学療法学 査読委員		2025.4-2026.3
2	日本運動器理学療法学会		編集委員		2025.4-2026.3
3	日本運動器理学療法学会		評議員		2025.4-2026.3
4	日本基礎理学療法学会		査読委員		2025.4-2026.3
5	埼玉産業保健総合支援センター		相談員		2025.4-2026.3
(3) ジャーナリズムでの発言					
	メディア等の名称		内容		年月
1	該当なし				
(4) その他					
	項目	相手方等	内容		期間
1	産業支援	ローカルエリア	介護職員向けの腰痛要望対策実技指導		2025.12
5. 学内運営					
	項目		内容		期間
1	全学的委員会及びセンター業務等		研究推進委員会・奨励検討部会		2025.4-2026.3
2	学生支援		1年生副担任		2025.4-2026.3
3	大学広報活動		高校訪問（淑徳与野高校）		2025.4-2026.3

6. 受賞（研究、教育、社会貢献活動に関するもの）			
	受賞名	主催	受賞年月
1	該当なし		
7. 特許の取得			
	特許名	特許番号	登録年月
1	該当なし		
8. 特記事項			
1	該当なし		